

村城裕明さん『思い出』（5月29配信）

こんにちは！村城です。

小学校の一番の思い出をお話します。それは、一年生の時のことです。

真新しいランドセルを背負い、下校していました。その時は、福知山市に住んでいた1つ下の幼稚部の友達とその母親と三人でした。学校が終わり浮かれ気分で、歩くのも早くなっていました。

その時です。突然友だちの母親が呼び止めてきました。ものすごき慌てた表情をしています。何かと思ったら、ランドセルに鳥の糞が落ちたとのこと。きょとんとする私と、必死の形相で拭いてくれる友達のお母さん。

その表情が面白く、一番の思い出です。今も鮮明に思い出せます。ほかの学校生活のことは思い出せません。あの顔だけはなぜか忘れられません。